2020～2029年度の連系線の運用容量（年間計画・長期計画）

2020年2月14日

電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators,JAPAN
OCCTO

目次

1. 2020年度の連系線の運用容量

2. 2021年度の連系線の運用容量

3. 特殊日の運用容量

4. 2022～2029年度の連系線の運用容量（長期計画）

5. 全国系統の運用容量（2020年度８月平日昼間帯）

1．(1) 2020年度の連系線の運用容量（平日：昼間帯）

（万kW）

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【80(③)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【35(④)】	236(①) 【35(④)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	<520(②)> 495(②) 【390(①)】	550(①) 【430(①)】	<550(①)> 450(②)	<630(①)> 570(②)	<620(①)> 615(①)	550(①) 【465(①)】	<470(②)> 465(②) 【345(①)】	<525(②)> 515(②)	<540(①)> 455(②)	550(②)	<570(②)> 510(②)	540(①)
東京中部間連系設備	東京向	120(①) 【60(③)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)	120(①)	120(①) 【90(①)】	120(①) 【60(①)】	【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】
	中部向	120(①)	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)	120(①)	120(①) 【90(①)】	120(①) 【60(①)】	【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】
中部関西間連系線注1）	中部向	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】
	関西向	51(④)	56(④)	66(④) 【0(①)】	101(④)	103(④)	前半90(④) 後半80(④)	69(④)	前半79(④) 後半85(④)	101(④)	108(④)	92(④)	前半77(④) 【0(①)】 後半67(④)
北陸フェンス注1）	北陸向	130(④)	130(④)	150(④) 【150(④)】	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	130(④) 【130(④)】	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④) 【160(④)】
	中部・関西向	172(④)	177(④)	190(②) 【173(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【193(④)】	190(②) 【177(④)】	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【187(④)】 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】
北陸関西間連系線注1）	北陸向	130(④)	130(④)	150(④) 【0(①)】	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	130(④) 【0(①)】	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④) 【0(①)】
	関西向	172(④)	177(④)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	190(②) 【0(①)】	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【0(①)】 後半190(②)
関西中国間連系線注1）	関西向	386(③) 【301(③)】	386(③) 【329(①)】	386(③)	421(③)	421(③)	前半421(③) 【329(①)】 後半401(③)	401(③)	401(③)	416(③)	416(③)	416(③)	前半416(③) 【386(③)】 後半401(③) 【386(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①) 【23(④)】	120(①) 【25(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【25(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線注1）	中国向	225(④) 【225(④)】	223(④) 【223(④)】	230(④)	256(④)	238(④)	前半241(④) 後半232(④)	229(④)	前半236(④) 後半246(④)	255(④)	281(④)	271(④)	前半258(④) 後半241(④)
	九州向	1(④) 【0(④)】	3(④) 【0(④)】	8(④)	23(④)	27(④)	前半19(④) 後半16(④)	11(④)	前半14(④) 後半15(④)	21(④)	20(④)	17(④)	前半12(④) 後半11(④)

（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
＜ ＞内の数字は、運用容量の最大を示す。（東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。）
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
注1） 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1．(2) 2020年度の連系線の運用容量（平日：夜間帯）

（万kW）

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【26④】	236(①) 【27④】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	<510(①)> 490(①) 【455(①)】	515(①) 【425(①)】	<540(①)> 430(②)	<585(①)> 530(①)	<585(①)> 575(①)	<540(①)> 530(②) 【475(①)】	<530(①)> 515(②) 【335(①)】	<525(②)> 505(②)	<530(①)> 510(②)	525(①)	<525(①)> 505(①)	<525(①)> 505(①)
東京中部間連系設備	東京向	120(①) 【60(③)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)	120(①)	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	中部向	120(①)	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)	120(①)	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中部関西間連系線注1）	中部向	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】
	関西向	86(④)	83(④)	84(④) 【0(①)】	106(④)	104(④)	前半105(④) 後半97(④)	98(④)	前半104(④) 後半110(④)	116(④)	135(④)	134(④)	前半122(④) 【0(①)】 後半110(④)
北陸フェンス注1）	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④) 【70(④)】	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④) 【90(④)】
	中部・関西向	190(②)	190(②)	190(②) 【203(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【210(②)】	190(②) 【210(②)】	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【210(②)】 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1）	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④) 【0(①)】	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④) 【0(①)】
	関西向	190(②)	190(②)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	190(②) 【0①】	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【0①】 後半190(②)
関西中国間連系線注1）	関西向	386(③)	386(③)	386(③)	421(③)	421(③)	前半421(③) 後半401(③)	401(③)	401(③)	416(③)	416(③)	416(③)	前半416(③) 【386(③)】 後半401(③) 【386(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①) 【21(④)】	120(①) 【22(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【22(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線注1）	中国向	198(④) 【198(④)】	194(④) 【194(④)】	194(④)	215(④)	196(④)	前半206(④) 後半198(④)	195(④)	前半202(④) 後半210(④)	218(④)	243(④)	245(④)	前半228(④) 後半212(④)
	九州向	31(④) 【20(④)】	28(④) 【18(④)】	29(④)	38(④)	38(④)	前半37(④) 後半35(④)	36(④)	前半38(④) 後半40(④)	42(④)	46(④)	45(④)	前半43(④) 後半40(④)

（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
＜ ＞内の数字は、運用容量の最大を示す。（東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。）
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
注1） ９月、１１月、３月における「前半」：１５日まで、「後半」：１６日以降

1．(3) 2020年度の連系線の運用容量（休日：昼間帯）

（万kW）

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【32(④)】	236(①) 【32(④)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	<535(②)> 495(②) 【505(①)】	<550(①)> 540(②) 【435(①)】	<545(②)> 450(②)	<630(①)> 570(②)	615(①)	550(①) 【465(①)】	<470(②)> 465(②) 【345(①)】	<525(②)> 515(②)	540(①)	550(②)	<570(②)> 510(②)	540(①)
東京中部間連系設備	東京向	120(①) 【60(③)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)	120(①)	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)
	中部向	120(①) 【90(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)	120(①)	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)
中部関西間連系線注1）	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	28(④)	28(④)	39(④)	74(④)	77(④)	前半66(④) 後半53(④)	40(④)	前半57(④) 後半60(④)	77(④)	78(④)	68(④)	前半49(④) 後半46(④)
北陸フェンス注1）	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④) 【70(④)】	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	130(④)	132(④)	147(④) 【128(④)】	190(②)	190(②)	前半 187(④) 後半 168(④) 【151(④)】	151(④) 【134(④)】	前半 170(④) 後半 173(④)	190(②)	190(②)	184(④)	前半 162(④) 後半 157(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)
北陸関西間連系線注1）	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④) 【0(①)】	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	130(④)	132(④)	147(④) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半187(④) 後半168(④) 【0(①)】	151(④) 【0(①)】	前半170(④) 後半173(④)	190(②)	190(②)	184(④)	前半162(④) 後半157(④)
関西中国間連系線注1）	関西向	386(③)	386(③)	386(③)	421(③)	421(③)	前半421(③) 後半401(③)	401(③)	401(③)	416(③)	416(③)	416(③)	前半416(③) 【386(③)】 後半401(③) 【386(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【21(④)】	120(①) 【20(④)】	120(①) 【20(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線注1）	中国向	180(④) 【180(④)】	174(④) 【174(④)】	185(④)	214(④)	212(④)	前半206(④) 後半194(④)	185(④)	前半198(④) 後半208(④)	214(④)	226(④)	223(④)	前半211(④) 後半202(④)
	九州向	0(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	2(④)	16(④)	18(④)	前半12(④) 後半11(④)	4(④)	前半9(④) 後半11(④)	14(④)	13(④)	10(④)	前半7(④) 後半4(④)

（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
＜ ＞内の数字は、運用容量の最大を示す。（東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。）
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
注１）９月、１１月、３月における「前半」：１５日まで、「後半」：１６日以降

1．(4) 2020年度の連系線の運用容量(休日：夜間帯)

（万kW）

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	<515(①)> 485(①) 【455(①)】	<535(①)> 500(①) 【425(①)】	<520(①)> 430(②)	<585(①)> 530(①)	575(①)	540(①) 【475(①)】	<530(①)> 515(②) 【335(①)】	<525(②)> 505(②)	530(①)	525(①)	<525(①)> 505(①)	<525(②)> 510(②)
東京中部間連系設備	東京向	120(①) 【60(③)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)	120(①)	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	中部向	120(①) 【90(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①) 【60(①)】	120(①)	120(①)	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①) 【90(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中部関西間連系線注1）	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	60(④)	54(④)	60(④)	81(④)	83(④)	前半81(④) 後半77(④)	73(④)	前半91(④) 後半98(④)	107(④)	120(④)	123(④)	前半100(④) 後半94(④)
北陸フェンス注1）	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【80(④)】	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④) 【70(④)】	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	173(④)	166(④)	173(④) 【166(④)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【189(④)】	189(④) 【185(④)】	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1）	北陸向	70(④)	70(④)	80(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④) 【0(①)】	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	173(④)	166(④)	173(④) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	189(④) 【0(①)】	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1）	関西向	386(③)	386(③)	386(③)	421(③)	421(③)	前半421(③) 後半401(③)	401(③)	401(③)	416(③)	416(③)	416(③)	前半416(③) 【386(③)】 後半401(③) 【386(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①) 【20(④)】	120(①) 【20(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線注1）	中国向	175(④) 【175(④)】	166(④) 【166(④)】	174(④)	191(④)	189(④)	前半185(④) 後半177(④)	170(④)	前半183(④) 後半191(④)	202(④)	215(④)	224(④)	前半205(④) 後半201(④)
	九州向	23(④) 【14(④)】	21(④) 【12(④)】	23(④)	32(④)	33(④)	前半32(④) 後半31(④)	29(④)	前半35(④) 後半38(④)	40(④)	43(④)	43(④)	前半39(④) 後半36(④)

（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
＜ ＞内の数字は、運用容量の最大を示す。（東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。）
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
注１） ９月、１１月、３月における「前半」：１５日まで、「後半」：１６日以降

2．(1) 2021年度の連系線の運用容量（平日：昼間帯）

（万kW）

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【35(④)】	236(①) 【118(①)】	236(①) 【44(④)】	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	<530(①)> 500(①) 【420(①)】	525(①) 【420(①)】	<535(①)> 520(①) 【345(①)】	<605(①)> 545(①)	<605(①)> 570(②)	555(①) 【555(①)】	<480(②)> 420(②) 【420(②)】	<490(②)> 480(②) 【380(②)】	<540(①)> 490(②) 【490(②)】	555(②)	<555(②)> 550(②) 【505(②)】	540(①)
東京中部間連系設備	東京向	210(①) 【150(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
	中部向	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①) 【172(①)】	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
中部関西間連系線注1）	中部向	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	51(④) 【0(①)】	56(④)	66(④)	100(④)	103(④)	前半90(④) 後半80(④)	68(④)	前半79(④) 後半85(④)	100(④)	107(④)	92(④)	前半76(④) 後半67(④)
北陸フェンス注1）	北陸向	130(④) 【130(④)】	130(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	【150(④)】	130(④) 【130(④)】	【130(④)】	160(④) 【160(④)】	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	172(④) 【152(④)】	177(④)	190(②)	190(②)	190(②) 【210(②)】	前半 【210(②)】 後半 【193(④)】	190(②) 【177(④)】	前半 【193(④)】 後半 【200(④)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1）	北陸向	130(④) 【0(①)】	130(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	【0 ①】	130(④) 【0(①)】	【0 ①】	160(④) 【0(①)】	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	172(④) 【0(①)】	177(④)	190(②)	190(②)	190(②) 【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	190(②) 【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1）	関西向	401(③) 【386(③)】	401(③)	401(③) 【278(①)】	421(③) 【316(③)】	421(③)	前半421(③) 【329(①)】 後半401(③) 【329(①)】	401(③) 【329(①)】	401(③) 【316(③)】	416(③)	416(③)	416(③)	前半416(③) 【386(③)】 後半401(③) 【386(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【25(④)】	120(①) 【23(④)】	120(①) 【25(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【25(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【25(④)】
中国九州間連系線注1）	中国向	225(④) 【225(④)】	223(④) 【223(④)】	230(④)	256(④)	238(④)	前半241(④) 後半232(④)	229(④)	前半236(④) 後半246(④)	255(④)	281(④)	271(④)	前半258(④) 後半241(④)
	九州向	1(④) 【0(④)】	3(④) 【0(④)】	8(④)	23(④)	27(④)	前半19(④) 後半16(④)	11(④)	前半14(④) 後半15(④)	21(④)	20(④)	17(④)	前半12(④) 後半11(④)

（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
＜ ＞内の数字は、運用容量の最大を示す。（東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。）
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
注1） ９月、１１月、３月における「前半」：１５日まで、「後半」：１６日以降

2．(2) 2021年度の連系線の運用容量（平日：夜間帯）

（万kW）

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	<500(①)> 470(①) 【405(①)】	495(①) 【405(①)】	<500(②)> 490(①)	<580(①)> 510(②)	<580(①)> 525(②)	530(②) 【530(②)】	<515(②)> 440(②) 【470(②)】	<525(②)> 515(②) 【385(①)】	<530(①)> 525(②)	565(②)	<565(②)> 555(①) 【515(②)】	<525(①)> 520(①)
東京中部間連系設備	東京向	210(①) 【150(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
	中部向	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①) 【172(①)】	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
中部関西間連系線注1）	中部向	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	86(④) 【0(①)】	83(④)	84(④)	106(④)	104(④)	前半104(④) 後半97(④)	98(④)	前半104(④) 後半110(④)	115(④)	135(④)	133(④)	前半121(④) 後半109(④)
北陸フェンス注1）	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【80(④)】	70(④) 【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②) 【207(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	190(②) 【210(②)】	前半 【210(②)】 後半 【210(②)】	190(②) 【210(②)】	前半 【210(②)】 後半 【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半 190(②) 後半 190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1）	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0 ①】	70(④) 【0(①)】	【0 ①】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	190(②) 【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	190(②) 【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線注1）	関西向	401(③) 【386(③)】	401(③)	401(③) 【278(①)】	421(③)	421(③)	前半421(③) 【329(①)】 後半401(③) 【329(①)】	401(③) 【329(①)】	401(③)	416(③)	416(③)	416(③)	前半416(③) 【386(③)】 後半401(③) 【386(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【23(④)】	120(①) 【21(④)】	120(①) 【22(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【22(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【23(④)】
中国九州間連系線注1）	中国向	198(④) 【198(④)】	194(④) 【194(④)】	194(④)	215(④)	196(④)	前半206(④) 後半197(④)	194(④)	前半202(④) 後半210(④)	218(④)	243(④)	245(④)	前半228(④) 後半212(④)
	九州向	30(④) 【20(④)】	28(④) 【18(④)】	29(④)	38(④)	38(④)	前半37(④) 後半35(④)	36(④)	前半38(④) 後半40(④)	42(④)	46(④)	45(④)	前半43(④) 後半40(④)

（ ）内の数字は，運用容量決定要因(①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
＜ ＞内の数字は、運用容量の最大を示す。（東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。）
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
注１） ９月、１１月、３月における「前半」：１５日まで、「後半」：１６日以降

2．(3) 2021年度の連系線の運用容量（休日：昼間帯）

（万kW）

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①) 【42(④)】	236(①)
	東京向	<525(①)> 520(①) 【415(①)】	<525(①)> 500(①) 【420(①)】	<535(①)> 520(①)	<605(①)> 545(①)	<605(①)> 570(②)	555(①) 【555(①)】	<480(②)> 420(②) 【435(②)】	<490(②)> 480(②) 【380(②)】	<540(①)> 490(②)	555(②)	<555(②)> 550(②) 【505(②)】	540(①)
東京中部間連系設備	東京向	210(①) 【180(①)】	210(①) 【150(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
	中部向	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
中部関西間連系線注1）	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	28(④)	28(④)	39(④)	73(④)	77(④)	前半66(④) 後半53(④)	40(④)	前半57(④) 後半60(④)	77(④)	78(④)	67(④)	前半49(④) 後半46(④)
北陸フェンス注1）	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【80(④)】	70(④) 【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	130(④) 【109(④)】	132(④)	147(④)	190(②)	190(②) 【181(④)】	前半 【170(④)】 後半 【151(④)】	151(④) 【134(④)】	前半 【155(④)】 後半 【158(④)】	190(②) 【183(④)】	190(②)	184(④)	前半 162(④) 後半 157(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線注1）	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0 ①】	70(④) 【0(①)】	【0 ①】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	130(④) 【0(①)】	132(④)	147(④)	190(②)	190(②) 【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	151(④) 【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	184(④)	前半162(④) 後半157(④)
関西中国間連系線注1）	関西向	401(③) 【386(③)】	401(③)	401(③)	421(③)	421(③)	前半421(③) 【329(①)】 後半401(③) 【329(①)】	401(③) 【329(①)】	401(③)	416(③)	416(③)	416(③)	前半416(③) 【386(③)】 後半401(③) 【386(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【21(④)】	120(①) 【20(④)】	120(①) 【20(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【22(④)】
中国九州間連系線注1）	中国向	180(④) 【180(④)】	174(④) 【174(④)】	185(④)	214(④)	212(④)	前半206(④) 後半194(④)	185(④)	前半198(④) 後半208(④)	214(④)	226(④)	222(④)	前半211(④) 後半202(④)
	九州向	0(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	2(④)	15(④)	18(④)	前半12(④) 後半11(④)	4(④)	前半9(④) 後半11(④)	14(④)	13(④)	10(④)	前半7(④) 後半4(④)

（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
＜ ＞内の数字は、運用容量の最大を示す。（東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。）
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
注１） ９月、１１月、３月における「前半」：１５日まで、「後半」：１６日以降

2．(4) 2021年度の連系線の運用容量（休日：夜間帯）

（万kW）

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	<495(①)> 490(①) 【400(①)】	<495(①)> 470(①) 【405(①)】	<500(②)> 490(①)	<580(①)> 510(②)	<580(①)> 525(②)	530(②) 【530(②)】	<515(②)> 440(②) 【470(②)】	<525(②)> 515(②) 【390(①)】	<530(①)> 525(②)	565(②)	<565(②)> 555(①) 【515(②)】	<525(①)> 520(①)
東京中部間連系設備	東京向	210(①) 【180(①)】	210(①) 【150(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
	中部向	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
中部関西間連系線[注1]	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	59(④)	54(④)	59(④)	81(④)	83(④)	前半81(④) 後半77(④)	73(④)	前半91(④) 後半98(④)	107(④)	120(④)	123(④)	前半100(④) 後半94(④)
北陸フェンス[注1]	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【80(④)】	70(④) 【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	173(④) 【166(④)】	166(④)	173(④)	190(②)	190(②) 【197(④)】	前半 【195(④)】 後半 【189(④)】	189(④) 【185(④)】	前半 【207(④)】 後半 【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半 190(②) 後半 190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線[注1]	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0 ①】	70(④) 【0(①)】	【0 ①】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	173(④) 【0(①)】	166(④)	173(④)	190(②)	190(②) 【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	189(④) 【0(①)】	前半【0(①)】 後半【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線[注1]	関西向	401(③) 【386(③)】	401(③)	401(③)	421(③)	421(③)	前半421(③) 【329(①)】 後半401(③) 【329(①)】	401(③) 【329(①)】	401(③)	416(③)	416(③)	416(③)	前半416(③) 【386(③)】 後半401(③) 【386(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【21(④)】	120(①) 【20(④)】	120(①) 【20(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【23(④)】
中国九州間連系線[注1]	中国向	175(④) 【175(④)】	166(④) 【166(④)】	174(④)	191(④)	189(④)	前半185(④) 後半177(④)	170(④)	前半183(④) 後半191(④)	202(④)	215(④)	224(④)	前半205(④) 後半201(④)
	九州向	23(④) 【14(④)】	21(④) 【12(④)】	23(④)	32(④)	33(④)	前半32(④) 後半31(④)	29(④)	前半35(④) 後半38(④)	40(④)	43(④)	43(④)	前半39(④) 後半36(④)

（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。　【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
＜ ＞内の数字は、運用容量の最大を示す。（東北東京間連系線は流通設備等の作業停止を考慮して日毎に算出しているため、最小値とともに最大値も記載。）
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
注１）９月、１１月、３月における「前半」：１５日まで、「後半」：１６日以降

3．特殊日の運用容量

2020年度　（万kW）

連系線	潮流 方向	断面	GW	盆	年末年始
中部関西間連系線[1]	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	28(④)	88(④)	49(④)
		夜間帯	52(④)	92(④)	107(④)
北陸フェンス[1]	中部・関西向	昼間帯	130(④)	190(②)	157(④)
		夜間帯	163(④)	190(②)	190(②)
中国九州間連系線[2]	中国向	昼間帯	172(④)	225(④)	185(④)
		夜間帯	163(④)	188(④)	190(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	24(④)	7(④)
		夜間帯	21(④)	36(④)	42(④)

2021年度　（万kW）

連系線	潮流 方向	断面	GW	盆	年末年始
中部関西間連系線[1]	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	27(④)	88(④)	49(④)
		夜間帯	51(④)	92(④)	107(④)
北陸フェンス[1]	中部・関西向	昼間帯	130(④)	190(②)	157(④)
		夜間帯	163(④)	190(②)	190(②)
中国九州間連系線[2]	中国向	昼間帯	172(④)	225(④)	185(④)
		夜間帯	163(④)	188(④)	190(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	24(④)	7(④)
		夜間帯	21(④)	36(④)	42(④)

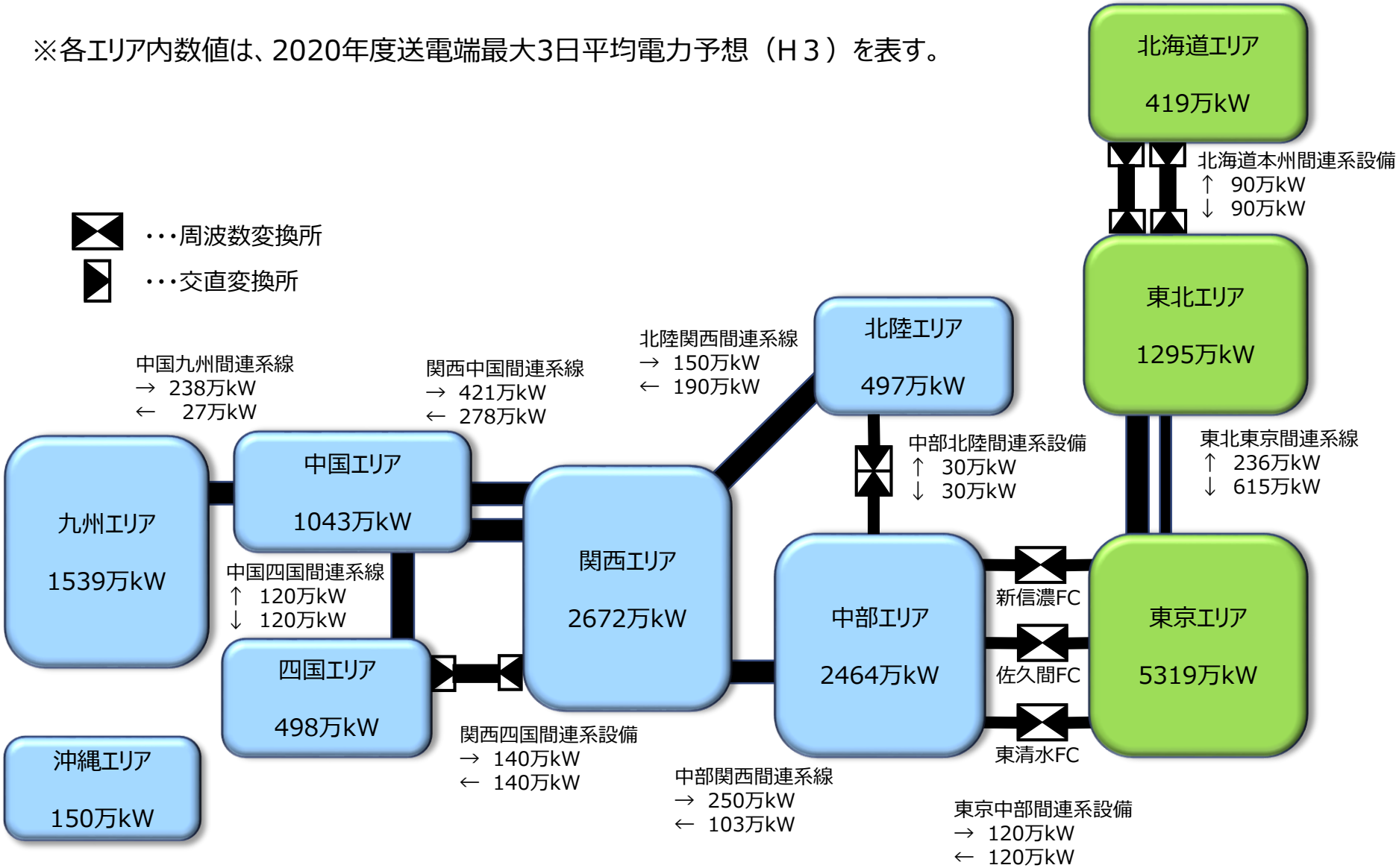
（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等，②同期安定性，③電圧安定性，④周波数維持）を示す。
1）休日または特殊日明けの夜間帯のうち0:00～8:00は、休日または特殊日の夜間帯の運用容量とする。
2）連続休日(特殊日以外)または特殊日明けの夜間帯のうち0:00～8:00は、休日または特殊日の夜間帯の運用容量とする。
特殊日として扱う日については、系統情報サービス「2020年度・2021年度連系線運用にかかわる平日・休日カレンダーについて」参照
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

4．2022～2029年度の連系線の運用容量（長期計画）

（万kW）

連系線	潮流方向	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)[2]	631(①)	631(①)
	東京向	565(②) 【420(②)】	565(②) 【420(②)】	565(②) 【420(②)】	565(②) 【420(②)】	620(②)[1] 【420(②)】	620(②)[3] 【420(②)】	1028(②) 【420(②)】	1028(②) 【420(②)】
東京中部間連系設備	東京向	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)
	中部向	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)
中部関西間連系線	中部向	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】	250(④) 【200(④)】
	関西向	124(④) 【27(④)】	124(④) 【27(④)】	124(④) 【27(④)】	124(④) 【27(④)】	124(④) 【27(④)】	124(④) 【27(④)】	124(④) 【27(④)】	124(④) 【27(④)】
北陸フェンス	北陸向	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】
	中部・関西向	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線	北陸向	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】	150(④) 【70(④)】
	関西向	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】	190(②) 【130④)】
関西中国間連系線	関西向	421(③)	421(③)	421(③)	421(③)	421(③)	421(③)	421(③)	421(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線	中国向	278(①) 【163(④)】	278(①) 【163(④)】	278(①) 【163(④)】	278(①) 【163(④)】	278(①) 【163(④)】	278(①) 【163(④)】	278(①) 【163(④)】	278(①) 【163(④)】
	九州向	32(④) 【0(④)】	32(④) 【0(④)】	32(④) 【0(④)】	32(④) 【0(④)】	32(④) 【0(④)】	32(④) 【0(④)】	32(④) 【0(④)】	32(④) 【0(④)】

【 】内の数字は、最大需要時以外など空容量が小さくなると予想される値を示す。（東北東京間（東京向）は、2021年度における最小値を参考記載）
（ ）内の数字は，運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。
1）東北地内の電源増設により、2026年度から東京向きの運用容量が55万kW増加の見込み。
2）2027年第二連系線運開後は，631万kW（相馬双葉幹線１回線熱容量相当）になる見込み。
3）2027年第二連系線運開後は，1028万kW （「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」(2017.2.3策定）に基づく）になる見込み。

5．全国系統の運用容量（2020年度８月平日昼間帯）

※各エリア内数値は、2020年度送電端最大3日平均電力予想（Ｈ３）を表す。